

模型航空フリーフライト殿堂

2013 年 4 月 5 日 No.001

こぼり みつお

小堀三夫氏

(1929 年 3 月 20 日～2013 年 2 月 22 日)

〔プロフィール〕

1973 年オーストリアでの世界選手権 F1B の部で第 3 位、一躍世界の注目を浴びる。その時、機体の名前を聞かれ名無しすなわち「No Name」と答えたのがそのまま機体の名称になったという伝説がある。プロペラは桧から削ったものであるが工芸品と見まがう出来映えで「コボリペラ-」の名で世界的に知られている。

その後も世界選手権に度々出場、また 2003 年に Lost Hills での Max Men International では 2 日間で 14 ラウンドという過酷な競技会でパーフェクトで優勝という快挙を成し遂げている。

〔競技歴（国際競技のみ記載）〕

1973 年 44 歳 世界選手権オーストリア大会 3 位
1979 年 50 歳 世界選手権アメリカタフト大会
1981 年 52 歳 世界選手権スペイン大会 5 位

1985 年 56 歳 世界選手権ユーゴスラビア大会

1988 年 59 歳 中国日中友好大会 3 位

1993 年 64 歳 世界選手権アメリカロストヒルズ大会

2000 年 71 歳 MaxMen アメリカ 優勝

2001 年 72 歳 MaxMen アメリカ（最後のフライオフタイムアウト） カップ返還

関連の TV 取材及び出演も多数ある。

〔ご家族から〕

恵子夫人 このたび夫、三夫を模型航空フリーフライト殿堂に入れて頂くとのこと、家族も光栄に思っております。1973 年の世界選手権で 3 位となり、帰国後、模型飛行機愛好家の園田直外務大臣が椿山荘で歓迎会を開催、記念品をいただき感激しました。

さかのぼる 1965 年のクリスマスイブ、夫の留守中に貰い火で 7 軒が火事に遭い焼け出されました。その時、なぜか私は飛行機の入った箱だけを持ち出すのが精一杯でした。罹災者として都営住宅に住み始めましたが、私は小さな子供達を連れて新居を探しに行き、めばしい物件を



見つけては一緒に見に行こうと誘うのですが、夫は首を横に振るだけで飛行機の製作に夢中で家にはまったく興味のない様子・・・。

そんな私達夫婦の姿を見て友達は『なぜ止めさせないの?』と言い、夫の母も『三夫、飛ばすのは一つあればいいんじゃないの?』と言ってくれましたが当の本人はなおも無言のまま飛行機を作るばかり。

しかし、焼け出されて一時的に集会所で生活している時に模型飛行機の仲間達が来て力づけて下さったのが大変嬉しかったのです。そんな仲間達を大切にして模型飛行機競技を続けて欲しいと思いました。そうして続けたからこそ日本はおろか世界中に多くの友達が出来、幸せな思い出をいただいたことを感謝するばかりです。

長男 朋秋さん 父の飛行機作りは仕事から帰り、夕食後のひとときでした。子供ながらに夜、目が覚めても電気スタンドの下、なお飛行機作りに余念がない父が机の前にいたのを覚えています。

〔仲間から〕

今度フリーフライト殿堂が設立され、最初の人として小堀さんが殿堂入りされるとのことで、氏との思い出などを2, 3披露させて戴きます。

私は、三十数年前に幕張の埋め立て地へ初めてFFを見学に行った時、小堀さんと出会い、家も比較的近くと言うことで、その後ご迷惑も顧みず、お宅に押しかけ師弟関係と言われるほどF1bのことを教わりました。

競技会での様子です。ゴムを巻きあげ、緊張の頂点に達したのか、何時も「ウウウ・・・ウウウ・・・」と喉の奥から発する声と、おもむろにタバコを取り出し、一服吸ってスーッと、吐いた煙のなびき方を見て、発航を決めていた様です。この一連のしぐさの中に、名人・勝負師と言われたものが集約されていたんですね。

機体の出来栄は、万人が認めるところでありました。プロペラの工作、小刀一本で削る技術は名人芸でした。バルサ巻きの胴体を作る工程は、気が遠くなる様なものでした。バルサを選び、透かして見て、一条の芯も無い物、これが良いバルサだと見せてくれました。絹でカバーする継ぎ目は、見えませんでした。（このコツは教えて貰えませんでした。）或る時、慎重に慎重を重ねて作った胴体に絹でカバーし、ドーブを塗って一晩置いてから見たら、絹の内側に小さな虫が入っていたそうで、私だったらなんとも思わない様なことでも、小堀さんはこの胴体は使わないと言って放って置きました。これほど完璧を追及すると言うか、こだわると言うか妥協を許さない人です。

完璧な工作技術と飛ばす技術が備わり、輝かしい功績を持った人です。（梅原義則）

ライトプレーンでもこんなところにもと思われるところまで行き届いた工作をしているのには驚かされる。凡人には思いつかない発想であり真似をするのも難しかった。〔吉岡靖夫〕

No Name の三面図とプロペラアセンブリー

